

SAPIX	4年		
	算数		
学習内容	32回 規則性 33回 速さ 冬期講習01回 平面図形（1） 冬期講習02回 数のせいしつ 冬期講習03回 平面図形（2）		
家庭学習ポイント	<p>32回 「「規則性」は等差数列や周期の利用、特定の操作を繰り返すものなどを学びます。内容に関しては、4年生のカリキュラムの中でも屈指の難易度、高度で小5のテキストと大きな差がない内容です。まずは隣同士の数の大小関係に注目し、規則性を見つける習慣をつけることが大切です。規則を見つけることができたら、問われているものへ向かうためにどう処理していくのかをしっかりと考えるようにしましょう。算数が苦手なお子さんは、基本的な問題の解法のみ押さえることを心がけ、難度の高い問題は翌年以降にできるようになればいい、という考え方で割り切るのも一つです。算数が得意であれば、しっかりとした規則性の解法を身につけ、今後のアドバンテージにすることが可能です。</p> <p>33回 「速さ」は、概念を理解したうえで、単位変換や距離・時間・速さの三公式を利用した問題を扱います。導入段階、冒頭の問題で扱われる「速さの考え方」を曖昧にせず、その後の単位変換を含め、「単位時間あたり進む距離＝速さ」ということが腑に落ちるまで、慣れていくことが大切です。「はじき（速さ×時間＝距離）」といった機械的なあてはめ作業に頼らず、三公式を当たり前に使いこなすことができれば、今後の旅人算などの問題にも対応できるでしょう。冬期講習では新出単元はありません。復習と応用問題が中心になっています。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	数の並びを見たら、隣の数同士の差、何倍になっているかなどを意識していますか？	チェック
	解決策	数列の基本的な対応動作ですね。しっかり習慣にしてしまいましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック2	数列の問題で「何を求める問題なのか」を意識して解いていますか？	チェック
	解決策	「□番目の数字」なのか「□番目の数字までの合計」なのか・・・問題文を最後まで読みましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック3	「速さ＝単位時間あたりに進む距離」が腑に落ちていますか？	チェック
	解決策	上記がしっかり腑に落ちていれば「は×じ=き」といった丸暗記は必要なくなります	<input type="checkbox"/>
	チェック4	速さの単位換算が正確にできていますか？	チェック
	解決策	「時速・分速・秒速」の単位だけでなく「km・m」の単位にも気をつけて換算しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	ここまで算数の学習で「手薄」になっている単元を把握できていますか？	チェック
	解決策	冬期講習では図形・数の性質関連が中心の学習です。自分の課題を把握して取り組みましょう	<input type="checkbox"/>
SAPIX	4年		
	国語		
学習内容	32回 コトノハ／メリークリスマス 物語文 33回 コトノハ／いきもの係 物語文 冬期講習で1回 物語文 冬期講習02回 物語文 冬期講習03回 説明文		
家庭学習ポイント	<p>12月の知識以外は、A授業、B授業とも物語中心です。冬期講習会も物語文：説明文=2：1くらいの割合で物語文を通信に学びますが、物語文で頻出の心情把握と理由説明を学習します。この知識を軸に、今後、物語文を解いていくことになります。「気持ちを読みとる」「理由を探る」といった演習が徹底されます。具体的には「なぜですか」の設問で、気持ちと行動どちらの理由を聞かれているかを確実にしながら回答を選ぶ／記述する訓練となります。このような「物語文の約束事」を冬期講習でも反復し4年生のうちに習得できると、大きな武器となります。行動の裏には気持ちがあり、それが行動の理由となっています。どこを読めばそれが分かるのか、どうやって推測するのか、その気持ちにはどんな言葉がしつくりくるのか。こうした過程を常に意識できるようにするのが目標です。敬語や語句の知識に関しては、授業で説明されるとそのときは納得できるのですが、その使用法まで理解できないと、テストで正答にたどり着けません。こうした語句の復習・定着がB形式のみの冬期では疎かになりがちです。日常生活でも正しく使える状態にするのが望まく、家庭で積極的に取り入れるのもよい試みです。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	「コトノハ」の文章を家庭でも音読していますか？	チェック
	解決策	言葉は文章の中で学ぶのが最適です。ぜひ続けてください。	<input type="checkbox"/>
	チェック2	わからない言葉が文章の中に出てきたとき、調べる習慣はついていますか？	チェック
	解決策	基本的なことですが、必ず調べる習慣をつけるましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック3	物語文では、登場人物の行動のもととなっている気持ちに注目していますか？	チェック
	解決策	テキストの「読解メソッド」をしっかり活用しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック4	語句の学習では、そのものを覚えるだけでなく「シチュエーション」を意識して覚えてていますか？	チェック
	解決策	どのような場面でどのようなニュアンスで使われるかを意識して記憶しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	新しい語彙について、家庭内で話題にする習慣がありますか？	チェック
	解決策	子ども新聞などを購読し、そこから話題を抽出するのもいいですね	<input type="checkbox"/>

SAPIX								
							4年	
							理科	
学習内容							32回 汗をかく植物？！ 33回 こんな関係って、アリ？ 冬期講習01回 電車ごっこをする電気 3冬期講習02回 二人三脚をする電気	
家庭学習 ポイント							<p>32回「汗をかく植物」では、蒸散などについて学びます。植物体からの水の蒸散はくきの表面、葉の表面、裏面から行われますが、実験の条件によっては試験管の水面などからの水分の蒸発も考えなければなりません。「葉の表・裏・くき・水面」と整理し、どこから水分が蒸発しているのか、実験それぞれの条件を確認しながらまとめる必要がありますね。小さな手間ですが、端折るとミスの原因となります。授業で先生が黒板にまとめた書き方をよく見直し、自分でイチから書けるように練習しておきましょう。その際「なぜこのようにまとめることが必須なのか」を考え、納得しておくことが重要です。33回「こんな関係ってアリ？」では昆虫の生態について学びます。昆虫が苦手なお子さんは、今回の学習の中心である「アリ」にスポットをあてて生態を調べてみましょう。小さな体でも4mもの深い巣をつくるなど、驚くような生態を知ることによって、昆虫に対する興味が新たになるかもしれません。またアブラムシとアリ（共生）、テントウムシ（天敵）の関係も同じように、興味深く感じるかもしれませんね。自然界の食物連鎖にまで興味が広がれば、この回の学習の効果は最大限となるでしょう。冬期講習は電気についてのみの学習になります。</p>	
課題の把握と解決策	チェック1						植物の体で蒸散が行われる理由を説明できますか？	チェック
	解決策						水分を蒸発させることで、新たな水分（とそこに溶けている養分）を吸い上げるためです	<input type="checkbox"/>
	チェック2						蒸散の計算問題では「葉の表・裏・くき・水面」から蒸発する水の量を整理していますか？	チェック
	解決策						算数の図同様「簡単な問題でも整理する」を習慣にして端折らない、が鉄則です	<input type="checkbox"/>
	チェック3						テキストの表紙／表紙裏すべてに目を通していますか？	チェック
	解決策						問題を解くだけでなく「何を学んでいるのか」に興味を持つことが重要です	<input type="checkbox"/>
	チェック4						完全変態・不完全変態（と無変態）の昆虫覚えられていますか？	チェック
	解決策						語呂合わせなども有効ですが「完全変態＝さなぎの時期がある＝体の作りが大きく変化」ですね	<input type="checkbox"/>
	チェック5						食物連鎖は自然界における「何の流れ」か理解できていますか？	チェック
	解決策						植物が光合成でつくる酸素と栄養分の流れですね。なので植物が「生産者」なのです	<input type="checkbox"/>
SAPIX							4年	
							社会	
学習内容							32回 日本の森林と林業 33回 いろいろな工業～工業の種類～ 冬期講習01回 工場をつくるなら？（1）～金属工業と石油化学工業～ 冬期講習02回 工場をつくるなら？（2）～機械工業～	
家庭学習 ポイント							<p>32回「日本の森林と林業」では日本の林業の特徴や問題点について学びます。まず、国土の3分の2を森林が占める日本において、森林がどのような働きをしているか、なぜ重要なのかを理解しておく必要があります。その上で、日本の林業の現状と問題点について理解するのがいいでしょう。新型コロナウィルスの流行後「ウッドショック」といった言葉も話題になりましたが、授業でも先生が触れるかもしれません。ご家庭でも話題に出してみるとよいですね。33回「いろいろな工業」では主に重化学工業と軽工業について、その内容と出荷額の変化に注目します。まず、重化学工業と軽工業の内容と製品についての区別をできるようにしておくことが大切です。また、主に機械工業における「大量生産」のための工夫や、手工業から機械工業への移り変わりについても確認ていきましょう。講習では引き続き、金属、石油化学、機械、軽工業といった、各工業の具体的な特徴を学びます。</p>	
課題の把握と解決策	チェック1						日本の森林の重要性について理解できていますか？	チェック
	解決策						雨水を一定期間蓄えることによる恩恵に何があるか、テキストで確認してみましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック2						森林と温暖化の関係について説明できますか？	チェック
	解決策						温暖化と二酸化炭素、二酸化炭素と植物の関係を整理して説明しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック3						ウッドショックとは何かを説明できますか？	チェック
	解決策						日本の木材の輸入量の変化（と原因）、コロナウィルスの流行とをからめて説明しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック4						重化学工業と軽工業の違いを説明できますか？	チェック
	解決策						作られるものの大きさや複雑さが違いですが、「衣・食・住」に直接関連するのが軽工業ですね	<input type="checkbox"/>
	チェック5						「ソシオスコープ」「ソシオ博物館」を活用していますか？	チェック
	解決策						今回の学習では森林や工業の種類を具体的にイメージするためのツールとして活用しましょう	<input type="checkbox"/>